

～大阪の国際化戦略アクションプログラム～

世界で活躍するグローバル人材の育成

■おおさかグローバル塾

【概要】

世界で活躍するグローバル人材を育成するため、大阪在住若しくは在学の高校2・3年生を対象に、米国留学、英国留学コースの2つのコースを設置。英語による特別授業及び短期留学を実施することにより世界の人としっかりコミュニケーションできる力を育てるとともに、実際の現地大学での授業体験等を通じて、将来自信を持って本格的な留学生活を送る力を養う。平成27年度からは高校1年生向けに豪州留学コースを開始。

【取組状況】

・平成24～26年度（各コース定員48名 第1～3期生）275名修了
・平成27年度から英国・米国：各40名、豪州：20名の定員により実施

【成果】

・修了生のうち、長期留学した者の数が増えている。
第1期生：19名、第2期生：9名、第3期生：4名
・平成27年度中に22名が留学予定



■グローバル体験プログラム

【概要】

大阪の高校、専修学校・高専の生徒を対象に、グローバル人材育成のファーストステップとして、ホテルや空港施設等の実習施設を活用した実践的な英語学習、海外への興味を引き出し、生徒の学習意欲の向上を図り、グローバルな感覚・能力を育成。

【取組状況・成果】参加校・生徒数 英語や海外への関心が高まった割合

・平成24年度：53校、1,158名、97%（とても高まった59%、高まった38%）
・平成25年度：61校、1,546名、98%（とても高まった61%、高まった37%）
・平成26年度：62校、1,603名、97%（とても高まった61%、高まった36%）



■留学準備集中講座

【概要】

大阪在住若しくは在学の大学、高校、専修学校生等を対象に、海外留学を支援するため、留学に必要な基礎知識の習得やTOEFLコースとIELTSコースの2種類の試験対策等を行う。留学ガイダンス＋1日3時間×月3回（原則土曜）

【取組状況・成果】

・平成24～26年度：465名が参加（平成24年度定員50名、平成25年度～定員200名）



■おおさかグローバル奨学金・海外研修引率助成金

<おおさかグローバル奨学金 Aコース>

【概要】

大阪の国際化戦略アクションプログラム等に参加した大学・高校・専修学校生等を対象に、海外留学の渡航費・海外保険費用等を支援（1人30万円上限・留学期間3か月以上）

【取組状況・成果】

平成24～26年度：交付決定者数：217名

<おおさかグローバル奨学金 Bコース>大阪府高校生留学支援事業（文部科学省事業）

【概要】

大阪の高校に在籍する生徒を対象に、海外留学の授業料・渡航費・海外保険費用等を支援（平成24～25年度40万円上限、平成26年度30万円上限・留学期間原則1年間）

【取組状況・成果】

平成24～26年度：交付決定者数 27名

【課題】

・より早い段階からの海外留学の動機付けを行うことが必要

【今後の方向性】

・これまでの取り組み実績を踏まえ、プログラム内容の充実を図る。
・高校1年生へのグローバル人材育成事業の周知

<海外研修引率助成金>

【概要】

大阪に所在する大学・高校・専修学校等を対象に海外研修生を増員する場合、研修生10名あたり1名（1人30万円上限）の引率者の渡航費・海外保険費用等を助成（平成27年度から高校のみ対象）

【取組状況・成果】

平成24～26年度 交付決定校数：27校（43口）

■グローバルリーダー育成・留学促進事業

【概要】

大阪府の友好交流先であるインドネシア・東ジャワ州及びベトナムホーチミン市との間で高校生を相互派遣し、国際的な視野を持ったグローバルリーダー育成の契機とする。



【取組状況・成果】

・平成26年度：インドネシア・東ジャワ州への訪問団（府内1高校 生徒9人、教員1人）を派遣
・平成27年度：インドネシア・東ジャワ州からの訪問団（生徒20人、教員1人）を府内5高校・1大学が受入れ
大阪からの訪問団（府内4高校 生徒12人、教員2人）をインドネシア・東ジャワ州へ派遣
ベトナム・ホーチミン市と訪問団を相互派遣・受入れ予定

外国人の受入れ環境整備

■大阪留学プロモーション 別掲（アジアをターゲットとした観光プロモーション）

■外国人留学生の就職支援事業

【概要】

大学や専門学校などの教育機関と連携し、世界から留学生をはじめとする優れた人材を呼び込み大阪に活力を生み出す。

【取組状況・成果】

・外国人留学生を対象としたインターンシップ（無給型：平成24,25年度 有給型：平成25年度～）参加者174名
・外国人留学生向け合同企業説明会（平成24,25,27年度）参加者1,126名
・外国人留学生向け就職支援オープン講座（平成25年度～）参加者194名
・外国人留学生・企業相互理解促進事業（平成26年度～）参加者41名



■大阪の情報・魅力発信

【概要】

大阪の魅力やイベント、ビジネス、観光、留学、生活など様々な情報を日、英、中、韓の多言語ホームページ等によりワンストップで世界に発信。

【取組状況・成果】

アクセス数 平成24年度 7,220件(802件/月) 平成25年度 14,506件(1,611件/月)
平成26年度 22,388件(1,866件/月)

【課題】

・留学生は日本型就職活動についての知識が乏しく、できるだけ早期に日本企業の特長や就職についての理解を深めることが必要

・企業の採用ニーズと外国人留学生の就職意向にギャップがあり、就職のミスマッチが生じている

【今後の方向性】

・留学生と企業が相互に理解を深めることのできる事業を実施し、双方のミスマッチの解消を図っていく
・教育機関との連携し、留学生に事業を周知するとともに、より多くの留学生の参加を促す

～アジアをターゲットとした観光プロモーション等～

アジアをターゲットとした観光プロモーション等の実施 ～アジアをターゲットとした観光プロモーション等の実施、MICEの戦略的誘致～

P.7の「1.トラベルミッションの推進」及び「2.MICE誘致の推進」を参照

アジアをターゲットとした観光プロモーション等の実施 ～外国人留学生の受入れ促進～

【概要】

大阪府内の教育機関と連携して、インドネシア、ベトナム及びマレーシアで留学プロモーションを実施。留学先として大阪や府内の教育機関の魅力を発信し、大阪への留学生の呼び込みを図る。

【取組状況】

- ・平成24年度：インドネシア、ベトナムにおいて、「JAPAN OSAKA 留学&就職フェア」を実施【インドネシア：参加者数：2,800名(H24.10.21) ベトナム：参加者数：3,000名(H24.11.3-4)】
- ・平成25年度：インドネシア、ベトナムにおいて、「JAPAN OSAKA 留学&就職フェア」及び学校間交流会を実施【インドネシアフェア：4,050名(H25.9.22)、学校間交流会：164名(H25.9.21)】
【ベトナムフェア：1,850名(H25.11.3)、学校間交流会：45名(H25.11.4)】
- ・平成26年度：インドネシアにおいて、「JAPAN OSAKA 留学フェア」及び学校間交流会を実施【インドネシアフェア：3,750名(H26.9.21)、学校間交流会：124名(H26.9.20)】
- ・平成27年度：大阪留学ガイドブックの作成(H27)
マレーシアにおいて、独立行政法人日本学生支援機構が主催する留学フェアへの参加、及び学校間交流会・留学セミナーの開催により大阪への留学をPR(H27)
ベトナムにおいて、相談窓口の設置及び現地語ウェブサイト等による情報発信を開始(H27)

【成果】

- ・今後成長が見込まれるアジア諸国での留学フェアにおいて、多数の現地学生の参加を得、留学に関する情報発信を実施できた
- ・学校間交流会を契機として、府内教育機関と現地教育機関の間で学校間提携が進んだ

<JAPAN OSAKA 留学フェア in インドネシアの開催状況(H26年度)>

学校間交流会

【日時】：平成26年9月20日(土)12:00～15:00

【会場】：インドネシア教育大学

【参加者数】：日本30名(17校)、インドネシア94名(77校)

学校間交流会の様子



留学フェアの様子



留学フェア

【日時】：平成26年9月21日(日)9:00～16:30

【会場】：バンドン工科大学

(参加状況)

		H26年度
種別	大学	7校
	専門学校	6校
	日本語学校	5校
出展教育機関計		18校
協賛企業		5社
来場者数		3,750人

(来場者の属性)

高校	大学	大学院	一般	教育関係者	その他
33.8%	43.4%	2%	7.9%	1.5%	11.4%

(来場者の年齢)

～15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
20.3%	11.2%	12.7%	10.6%	9.6%
20歳	21歳	22歳	23歳	24歳～
8.9%	8.4%	6.4%	3.3%	8.6%



【課題】

- ・イベント形式での大阪留学プロモーションは集客力があり、情報発信の一手段として成立しているが、具体的な呼び込みに繋げる継続的な情報提供や相談等への対応を要する
- ・今後留学生の増加が期待できる国に的を絞って、府が先導するプロモーションの実施を検討すべき
- ・これまで実施してきた東南アジアでの留学プロモーション活動を、教育機関を含め民間の協力を得ながらより発展させ、相手国とのさらなる関係深化を図る必要

【今後の方向性】

- ・これまで留学フェアや学校間交流会を実施してきたインドネシア、ベトナムにおいては、イベントでの情報発信から、現地語ウェブサイトの構築等による継続的な情報発信に転換して実施
- ・大阪の教育機関や街の魅力を紹介する留学ガイドブックを作成、配布
- ・マレーシアにおいて、他機関が主催する留学フェアに参加、また、学校間の交流を促進
- ・府が先導的に実施してきた海外での留学プロモーション活動を、教育機関を含め民間主導で継続的に運営できるよう円滑な移行を図る